

ADS-win Ver5.1 (正式版)追加機能及び修正項目(03.09.)

下記は、Ver5.1 (正式版)における追加及び修正項目となります。

天空率シミュレーション(建物編集)

[1] 敷地境界線の簡略化対応

各領域をグループ化(測定ポイントは総延長処理)することで、一塊の建築物としての処理が可能です。

[2] 位置確認ポイントを20ポイントまで指定可能

位置確認におけるポイント指定を20ポイントまで可能としました。(適合 1~20、計画 A~T)ポイント指定(選択)中は、DLG(ダイアログボックス)を閉じないようにしました。適合及び計画の切り替え時に、指定済みポイント表示も自動的に切り替わるようにしました。アインメ図にもポイントNoを表示するようにしました。

[3] 計算速度の向上 約2倍の計算速度向上(対 Ver5.1 版)

[4] 天空率計算結果の表示方式変更

天空率の表示桁数を小数点以下3桁表示にしました。

- ◆ 適合建築物 小数点以下4桁目を切り上げ
- ◆ 計画建築物 小数点以下4桁目を切り捨て
- ◆ 差 表示桁数(3桁)での計算(計画 - 適合)

今までは適合及び計画は小数点以下3桁目を四捨五入表示し、'差'は、内部計算値(6桁)での差を小数点以下3桁目で四捨五入していたため、表示値では誤差のように見える場合がありました。

[5] 求積計算関連各種

擁壁扱い等の地盤扱いになるような薄い建築物の際に求積計算できないケースを修正しました。求積方法の変更(極力求積数を少なくなる処理)求積計算結果を小数点以下7桁で表示するようにしました。

[6] '戻る'時の建築物登録モードの追加

適合 or 計画同時登録及びキャンセル(天空率計算モードに戻る)機能を追加しました。

[7] '削除'時の全削除モード追加

全斜線制限結果の削除が可能となりました。

[8] 平面図及びアインメ図への領域外建物表示

天空率シミュレーション時に計画建築物全体をグレー表示(平面形状のみ)しました。

[9] 適合建築物処理関連

道路斜線適合建築物における2Aの回り込み処理(敷地内角が90度を越えた部分の回り込み)を一部変更しました。

地盤の高低差において計画建築物が擁壁扱いとして算入されないケースを修正しました。

[10] その他

位置確認ポイント指定時のDLGを確定されるまでは表示するようにしました

計算条件で境界線に対して変更があった際、変更された境界の天空率計算結果のみを破棄するようにしました。

天空図表示における表示項目詳細を計算条件/表示項目設定内で変更可能になりました。

日影計算

[1] 特定点の天空率計算における求積計算対応

建物編集において適合及び計画建築物を任意で編集した場合に、測定ポイント(特定点)毎に求積計算が可能となりました。

[2] 特定点指定時に補助線端点選択機能

特定点連続点指定の際、補助線端点が選択(新規(連))で2点指定の場合)できるようになりました。任意編集による天空率計算の場合、測定点のベースとなるラインを予め「補助線」で入力しておくことによりポイント指定における作業が軽減されます。

印刷

[1] オブジェクトの複数選択及び編集機能

オブジェクトをCtrl + 左クリックで複数選択可能です。(移動及び削除対応)

[2] 位置確認表の単独配置

位置確認表を単独配置するように変更しました。(指定ポイント数を20に増やした為)

[3] 領域単位の測定点リスト出力対応

従来の斜線制限単位に加え、領域単位の測定点リスト配置が可能です。

[4] 各種出力追加

天空率用建築物の高さ表示及び建物リスト
天空率測定点ピッチ(平面図作図時に測定ポイント)

[5] 特定点(日影)での天空率計算結果の天空図及び求積図出力

建物編集で任意に作成した適合又は計画建築物における天空率も求積図出力が可能となりました。

[6] 各種表の自動配置機能(天空率関連図面配置時)

平面図作図時 領域単位の測定点リスト 天空図作図時 求積表 位置確認表

[7] その他

図形選択及び縮尺変更時の縮尺設定で1/100ずつ可変するスピンプタンを追加しました。

その他

[1] 他社製CADとのデータ互換

従来他社システムとのデータ互換は、通常DXFを基本としていましたが、弊社オリジナル中間ファイル「ADX」を用いてダイレクトに読み込みが可能となっています。

ArchiTREND21データの取込機能を追加

・ArchiTREND21のFXデータ(福井コンピュータ社製オリジナル中間ファイル)を予め出力することによりファイル選択時のファイル種類で「*.fx」が選択可能です。

ADX出力対応予定CAD

・以下のCADは今後、CAD内にADX出力機能を搭載する予定です。

MADRIC CG2000 (株式会社シーピーユー)

建築VISION2 (株式会社システム総研)

ザ・プランナー (株式会社ザ・システム)

Work in home 2003 (株式会社データ通信システム)

・JWCAD (JWWIN)も対応予定です。

自社開発ADXコンバータ

・「AutoCAD」「ArchiCAD」「VectorWorks」の3製品に関しては自社開発したADXコンバータを利用することによりCAD側でADS-win用の敷地・建物等をADXとして事前に出力することが可能となります。

現在、弊社ホームページより無料でダウンロード可能です。

データ等により満足な結果が得られないケースが考えられますが、順次対応していく予定です。